



神奈川県における保健師人材確保の取組み 市町村専門職（保健師）派遣



神奈川県健康医療局保健医療部健康増進課

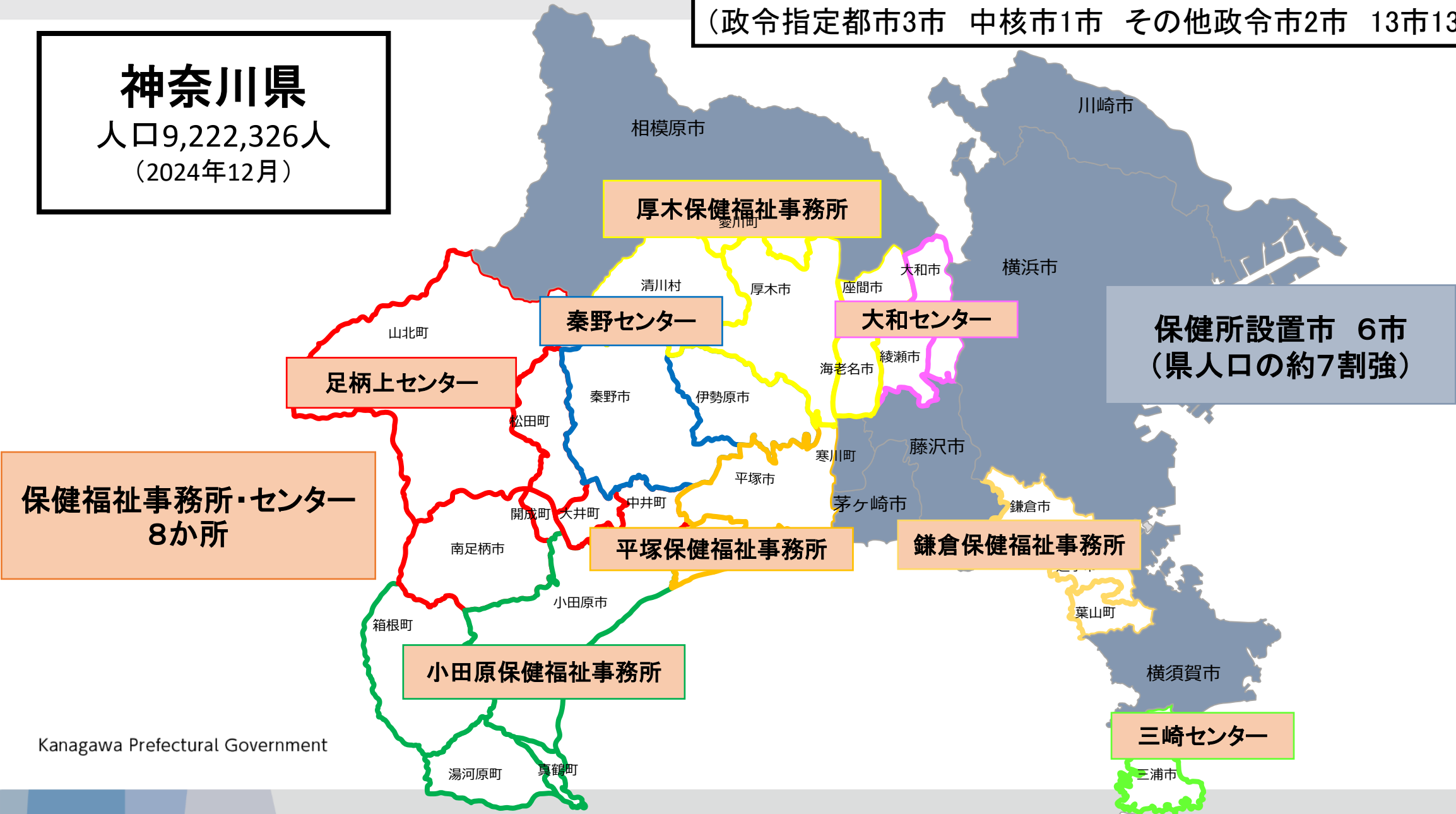
副課長 統括保健師 小野 聡枝



神奈川県

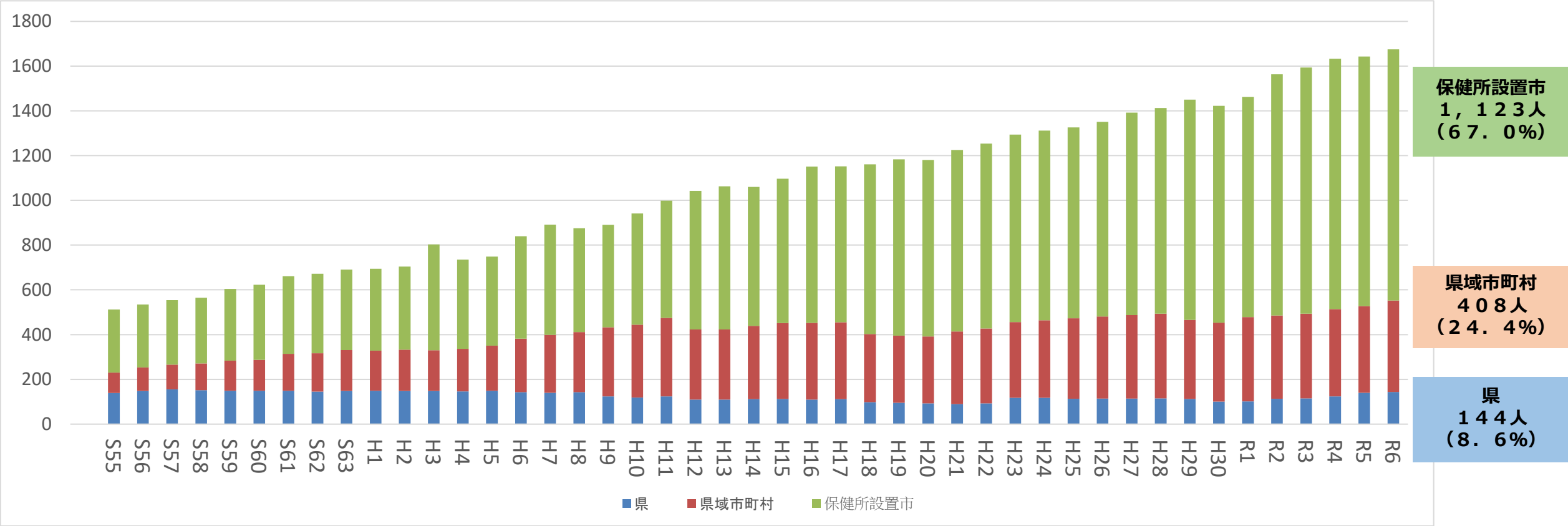
神奈川県
人口9,222,326人
(2024年12月)

33市町村
(政令指定都市3市 中核市1市 その他政令市2市 13市13町1村)



神奈川県自治体保健師数の動向

令和6年度
1, 675人



昭和55年度～令和5年度は県健康増進課調べ
令和6年度以降は保健師活動領域調査常勤保健師数（他の団体・自治体への出向等は含まない。県より市町村派遣は県都市町村保健師数に含まれる）

都道府県別にみた常勤保健師数

県内の自治体の保健師数は、**全国最下位**

	常勤保健師数	人口10万対			
		総数	順位	政令市・特別区	政令市・特別区以外
全国	28,560	22.8	—	14.5	30.6
神奈川県	1,202	13.0	47	11.4	18.5
東京都	1,857	13.4	46	12.7	15.6
埼玉県	1,185	16.1	45	13.4	17.5
愛知県	1,280	17.0	44	12.5	21.8
千葉県	1,090	17.3	43	12.7	19.5
福岡県	1,040	20.4	42	13.9	28.3
兵庫県	1,120	20.5	41	16.6	26.5

神奈川県市町村専門職員派遣の概要について

【概要】

- 人口減少・少子高齢化が進展する中、県内市町村において専門人材の確保が困難となっていることから、「持続可能な行政サービスの提供に向けた取組」の一環として、市町村の要望に応じて、県から職員を派遣する取組。
(令和2年度開始)
- 本制度は、地方自治法第2条第3項・第5項の趣旨を踏まえた補完的な取組(※)であるため、派遣先は、地方自治の本旨に基づき、派遣終了後を見据え、より一層自ら職員の確保、育成に努めるものとする。
※ 単に職員を補充するだけの取組ではなく、将来にわたり行政サービスを持続的に提供していくために市町村自身が人材を確保・育成できるよう、時限的措置として県が人的支援する取組。

【対象】

- 特にニーズの大きい保健師・土木職の片側派遣を対象 ※ 原則職務経験3年以上の職員を派遣

【派遣期間】

- **原則10年** ※ 派遣職員は原則2年ごとに交代

【派遣人数】

- 1年に保健師2人、土木職1～2人程度の派遣を想定(県の採用状況や社会情勢、派遣開始後の実績から想定)
※ 多数の派遣希望があった場合、客観的指標を用いて優先順位を決定したうえで概ね4～5年で平準化して派遣

【派遣先市町村の優先順位決定方法】

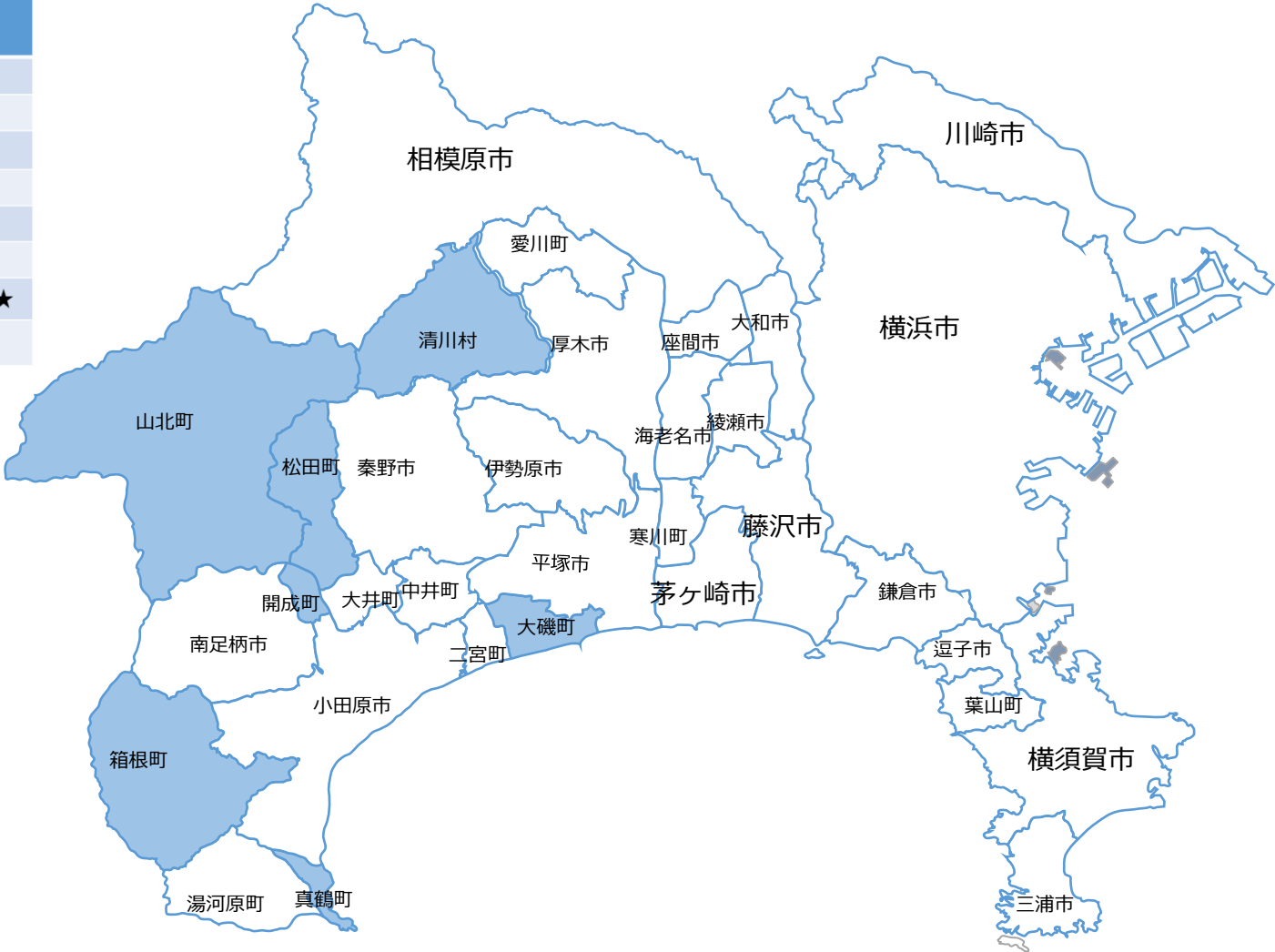
- 職員数、地域手当支給率、財政力指数等を踏まえて優先順位を設定(より状況の厳しい市町村優先)
※ 本制度での派遣回数が少ない市町村を優先するほか、派遣開始前々年度の派遣希望職種の採用活動も勘案。

【費用負担】

- 給与等の費用は、派遣先の市町村が負担 (単年度分を負担金として、出納整理期間中に納付)

市町村専門職（保健師）派遣の派遣状況

	人口	常勤保健師数	統括保健師	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度	R13 年度	R14 年度	R15 年度
山北町	9,381	3	有	●	●	●	●	●	○	○	○	○	★				
真鶴町	6,676	5	無	●	●	●	●	●	○	○	○	○	★				
松田町	10,277	7	有		●	●	●	●	○	○	○	○	○	★			
大磯町	30,954	7	無			●	●	●	○	○	○	○	○	○	★		
開成町	18,797	9	有				●	●	○	○	○	○	○	○	○	★	
清川村	2,886	3	有				●	●	○	○	○	○	○	○	○	★	
箱根町	10,866	6	有					●	○	○	○	○	○	○	○	○	★
計				2	3	4	6	7									



専門職派遣（保健師）に係る派遣先面談（ヒアリング）

メンバー	前期（令和6年6月）ヒアリング		後期（令和7年1月）ヒアリング	
	状況	県助言等	状況	県助言等
<p>＜県＞ 市町村課 健康増進課 （統括保健師、 保健師人材育成 マネージャー※） 保健福祉事務 所・センター （地域統括保健 師）</p> <p>＜市町村＞ 総務・人事担当 課、派遣保健 師配属部署、 （保健師主管課 統括保健師）</p>	<p>○採用募集しても応募がない。内定しても辞退されることが多い。</p> <p>○退職がある。</p> <p>○専門職のキャリア形成のイメージがない。</p> <p>○業務マニュアル、引き継ぎがない。</p> <p>○庁内保健師連絡会等ができていない。</p> <p>○研修参加は個人任せになっている。</p>	<p>＜市町村課＞</p> <p>○本取組の趣旨を再認識し、人材確保に取り組んでほしい。</p> <p>○専門職は人工としてではなく、免許資格者として専門性を発揮することが、モチベーションにつながる。</p> <p>○始業前後にミーティングや清掃があると聞いた。時間内に収める等の改善は必要。</p> <p>○個人情報管理徹底や引継ぎ体制等がしっかり出来ている自治体は人が定着する可能性も高い。環境・体制整備は優先順位を高くして改善してほしい。</p> <p>○時差出勤、カムバック制度などの多様な働き方の制度も整えることが必要。</p>	<p>○県保健所の主導で、管内市町村合同の人材育成ガイドラインを作成した。</p> <p>○統括保健師を配置した。</p> <p>○採用募集について、保健師ナビの掲載をした。合同就職説明会の町PRに事務職の課長も参加した。</p> <p>○勤務環境の改善がすすんでいない。</p> <p>○県・市町村統括保健師連絡会に欠席している。</p>	<p>＜市町村課＞</p> <p>○採用活動の停滞や勤務環境の改善が見られない町村もある。</p> <p>○市町村間での共同採用などの広域連携手法も視野に入れて引き続き人材確保にしっかり取り組んでほしい。</p>
		<p>＜健康増進課＞</p> <p>○統括保健師配置、プリセプター制度、人材育成ガイドラインがあるなどが確保の売りになる。</p> <p>○採用募集の周知は、町村HPだけではなく、神奈川県保健師ナビ※や、採用リーフレット※、合同就職・仕事説明会※等を活用してほしい。</p> <p>○保健師修学資金事業※を採用活動に活用してほしい。</p> <p>○インターンシップも有効な確保につながる。</p> <p>○ジョブローテーションの考え方は重要である。</p> <p>○研修受講は人材育成の観点で計画的にすすめてほしい。</p>		<p>＜健康増進課＞</p> <p>○3月の合同就職説明会に参加いただきたい。来年度採用募集の予定がなくても自治体PRは大切である。</p> <p>○県・市町村統括保健師連絡会に参加いただきたい。</p>

※保健師人材育成マネージャーの設置

令和6年度より、**役職定年制保健師2名を健康増進課に配置。**
「保健師人材育成マネージャー」の呼称のもと、統括・地域統括保健師と連携し、保健師の人材育成を組織横断的に行う。

1 保健師人材育成体制整備

研修体系の見直し・構築、新規研修立ち上げ（経験者採用フォローアップ研修、中堅後期研修等）

2 市町村派遣保健師支援

派遣先市町面談（市町村課と連携）、市町村派遣保健師連絡会、現場で技術支援

3 経験者採用保健師の支援（フォローアップ研修）

4 統括保健師の支援（相談等の助言、県庁保健師のキャリアラダー面談）

5 地域統括保健師の支援（ヒアリング、相談等の助言）

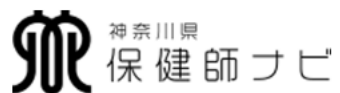
6 健康危機対策業務（能登半島地震災害派遣保健師活動報告書の作成）

7 母子保健事業の企画・進行管理等の伴走支援

8 保健師人材確保・育成に係るデータ分析・資料作成

神奈川県 保健師ナビ

神奈川県の保健師として、働きたいと思っているあなたへ



ホーム

仕事内容

職員紹介

採用情報

働き方

Q&A



疾病を抱えながら地域で生活しているお子さんと、その家族を対象に、家庭訪問等の個別支援や講演会の企画等を担当しています。

保健福祉事務所に勤務（2018年度入庁）

支援しているお子さんやそのご家族が、保健師を相談者として認識してくれたり、最近の様子を報告してくださったり、相談してくださったりすると、うれしく思います。保健師として少しでも力になれたかなと思えたときや、継続的に支援しているお子さんの成長をご家族の皆様と共有し一緒に喜べるのも、保健師ならではのことでと思っています。学校で健康教育を行うことも多く、緊張しますが、話を聞いた学生さんたちがそのテーマに興味を持ってくれたとき、やりがいを感じます。また、県が推進している「未来改善」の所内のプロジェクトチームのメンバーとして、未来の普及啓発にも取り組んでおり、市町村のイベントに参加させていただく等、楽しい時間を過ごしています。



1日の流れ

8:30
メールチェック、
申し込みなど

9:30
訪問準備

10:30
家庭訪問

12:00
お昼休憩

13:00
事業打合せ

14:30
窓口対応、電話相談、
事務作業など

17:15
退勤



令和6年度下半期採用情報一覧

神奈川県
保健師ナビ

神奈川県の保健師として、働きたいと思っているあなたへ

令和6年度下半期に採用募集が予定されている県内の自治体

※情報は随時、追加・変更される可能性があります。

下記以外の自治体での募集も見込めますので、詳細は各自治体HP等をご確認ください。

		募集期間	1次試験日	1次結果	最終結果				
自治体	採用予定人数	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月以降
川崎市	若干名	7/17～8/19			10/2010/31		12/19		
茅ヶ崎市	若干名			(通年エントリーを受け付けています)			11月下旬～12月中旬	12月中旬12月下旬	2月上旬
逗子市	2名 (常勤職員)		8/28～9/17	9/25～10/6	10/11	11月下旬			
海老名市	若干名	7/1～7/16		9/22			12/2		
真鶴町	若干名			9月上旬～下旬	10/20	11月上旬 (予定)	11月下旬 (予定)		
湯河原町	未定			9月上旬	10/20	11月上旬	12月下旬		

※神奈川県内行政保健師採用情報リーフレット（年2回発行）

県内自治体の採用
情報を集約

令和5年度 上半期
神奈川県内
行政保健師
採用情報

魅力あふれる
神奈川県内で
働きましょう

神奈川県
行政保健師ナビ

募集先：上野市（横浜市川崎区）※併任募集

各自治体問合せ先				
神奈川県 人事委員会事務局 総務課 043-633-3243	神奈川県 環境建設部総務課 総務課 043-210-4636	横浜市 人事委員会事務局 総務課 045-671-3347	川崎市 人事委員会事務局 総務課 044-200-3343	相模原市 人事委員会事務局 総務課 042-763-8320
横浜国立大学 046-822-9863	平塚市 総務課 0463-21-4762	鎌倉市 総務課 0467-23-9000	藤沢市 総務課 0463-50-3343	小田原市 総務課 0465-33-1281
茅ヶ崎市 総務課 0463-82-1111	逗子市 総務課 046-873-1111	三浦市 総務課 046-882-1111	南野市 総務課 0463-82-5120	厚木市 総務課 046-225-2070
大和市 総務課 046-260-5238	伊勢原市 総務課 0463-95-8871	海老名市 市役所総務課 046-235-4502	座間市 総務課 046-432-7911	南足柄市 総務課 0465-73-8008
綾瀬市 総務課 0467-60-6007	栗山町 総務課 046-876-4111	厚木町 総務課 0467-76-1111	大磯町 総務課 0463-61-8100	二宮町 総務課 0463-71-3316
中井町 総務課 0465-81-1111	大井町 総務課 0463-83-1311	松田町 総務課 0465-83-1221	山北町 総務課 0465-75-3451	開成町 総務課 0465-83-2331
鶴巻町 総務課 0463-83-9561	真鶴町 総務課 0463-68-4131	海老原町 総務課 0463-63-2111	愛川町 総務課 046-285-2111	清川村 総務課 046-288-3212

令和5年度上半期 採用情報一覧

自治体	採用 予定人数	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降
神奈川県	4月中旬公開		4月中旬～5月上旬	5月	5月		8月中旬		
神奈川県	4月中旬公開(定額)		5月12～18日	5月12～18日	5月12～18日	7月上旬	8月中旬		
横浜市	4/11公開		4月12～17	4月12～17	4月12～17	6月12～17	6月12～17		
川崎市	未定		4月12～17	4月12～17	4月12～17	未定	8月17		
相模原市	若干名		4月17～22	4月17～22	4月17～22	未定	8月上旬～9月上旬		
横浜国立大学	若干名		4月中旬～	4月中旬～	4月中旬～	7月下旬			
平塚市	若干名	3月中旬～4月中旬	5月下旬	5月下旬	5月下旬	6月中旬	8月中旬		
鎌倉市	若干名		5月～5月	5月～5月	5月～5月	未定	8月下旬		
藤沢市	若干名			5月～6月	5月～6月	未定	8月下旬		
小田原市	若干名	3/1～3/27	3/27	3/27	3/27	6月～7月			
大和市	若干名	3/10～4/3	4/3	5/17	5/17	6月上旬			
座間市	2名 (1983年10月1日以前)		5/15～5/31	5/15～5/31	5/15～5/31	7月上旬	8月下旬		
南足柄市	1名 (1983年4月12日以前)			5/15～5/31	5/15～5/31	7月上旬	8月下旬	10月～11月	
中井町	1名					6月中旬	8月上旬	9月	11/28
大井町	若干名				6月中旬	7月	8月下旬		
山北町	若干名				6月中旬	7月	8月下旬		
開成町	若干名		4/1～5/10	5/20～24	6月上旬				
鶴巻町	若干名				6月上旬				

※採用情報：1次試験、2次試験、最終試験

備考：情報は随時追加・変更される可能性があります。上記以外の自治体での募集も見られます。詳細はHP(神奈川県内行政保健師ナビ)や各自治体HP等でご確認ください。

※1 各自治体は5月10日までに5月以上の募集情報を発表するもの

※2 2次試験は5月上旬を予定

HP「神奈川県行政保健師ナビ」の紹介

HPはこちら！

最新の採用情報や仕事内容、保健師の活動の紹介などの情報を提供しています。

神奈川県内行政保健師ナビ

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cz6/cnt/f537286/index.html>

行政保健師とは

保健師は、保健師助産師養成法に基づき国家資格として、自治体や病院、企業など様々な場所で活動しています。中でも一層多いのが保健師や市町村などの自治体で働く保健師(行政保健師)です。

神奈川県は、県と33の市町村からなり、それぞれの自治体で保健師(行政保健師)を任用しています。

勤務場所は、神奈川県では、県庁・保健所・児童相談所・精神保健福祉センターなど、市町村では、市町村庁舎・市町村保健センターなどに配置されます。また、県内には、県庁指定都市、中核市などの保健所設置市があり、それぞれ保健師が配置されているので、保健所に配置されることもあります。

魅力溢れる様々な自治体の保健師活動を知っていただき、ぜひ一緒に神奈川県内で行政保健師として働きましょう！

保健師の主な業務

保健師は、地域で暮らす全ての人が地域で安心して生活できるよう、母子保健対策、生活習慣病対策、高齢者支援対策、産前・産後対策、精神保健対策等、幅広い分野で活動しています。

業務内容は、県(主に保健所)と市町村(主に保健センター)で異なります。

保健所では、妊娠、産前、産後、精神保健、産後、子どもの養育支援等の相談や助産など広域的、専門的な保健サービス等の提供、災害を含む大規模災害発生時の対応等について、市町村や関係機関と連携して業務を行います。

保健センターでは、地域住民の身近な保健活動として、運動や食生活、認知症、生活習慣病など広域的な保健サービスの提供や、保健師と連携して地域のケアシステム構築に関する業務を行います。

※保健所設置市については保健所と保健センター業務を併せて行います。

※業務内容については、自治体により異なります。

先輩保健師からのメッセージ

下池 竜郎
県庁保健師事務所勤務
(令和5年度入庁)

大学時代の看護実習で、公衆衛生の向上・病児予防に興味を持ち、卒業後すぐに保健師になりました。行政保健師の仕事内容は市民生活の健康相談や健康増進の事業です。仕事内容は広いですが、その地域風土や実情を通して日本橋や横浜や川崎を知ることもできます。また、地域住民の力とつながりながら、元気に地域を盛り上げていきたいという思いがあります。ぜひ神奈川県内の行政保健師として働いてみてください。

8:00 勤務開始
8:30 県庁保健師事務所
9:00 県庁保健師事務所
9:30 県庁保健師事務所
10:00 県庁保健師事務所
10:30 県庁保健師事務所
11:00 県庁保健師事務所
11:30 県庁保健師事務所
12:00 県庁保健師事務所
12:30 県庁保健師事務所
13:00 県庁保健師事務所
13:30 県庁保健師事務所
14:00 県庁保健師事務所
14:30 県庁保健師事務所
15:00 県庁保健師事務所
15:30 県庁保健師事務所
16:00 県庁保健師事務所
16:30 県庁保健師事務所
17:00 県庁保健師事務所
17:30 県庁保健師事務所
18:00 県庁保健師事務所
18:30 県庁保健師事務所
19:00 県庁保健師事務所
19:30 県庁保健師事務所
20:00 県庁保健師事務所
20:30 県庁保健師事務所
21:00 県庁保健師事務所
21:30 県庁保健師事務所
22:00 県庁保健師事務所
22:30 県庁保健師事務所
23:00 県庁保健師事務所
23:30 県庁保健師事務所
24:00 県庁保健師事務所

高橋 沙緒理
県庁保健師事務所勤務
(令和5年度入庁)

小規模地域指定病院のお子さんと家族の相談支援や、講演会の企画、健康相談の開催などを行っています。支援しているお子さんの家族から、関心のある相談があったときに、私を呼んでくれたことに嬉しさを感じました。保健師として地域で子どもの健康や成長を支えていけることを思い、この仕事に就きました。入庁前は、卒業後から保健師になることに不安もありましたが、経験と知識と様々な質問のサポートを得ながら、やりがいのある充実した毎日を送っています。

※県・市町村合同就職説明会・仕事説明会

2025 令和6年度
神奈川県市町村

3/14 (金)
13:00 ~ 16:00

保健師
合同就職説明会

対象
県内保健師養成校の学生
保健師免許を有する者
その他希望者

神奈川県職員キャリア
開発支援センター
研修ホール・研修室
横浜市中区小港4-1-2
2F（横浜駅西口・新横浜駅「有明公園」下車徒歩1分）

プログラム
研修ホール
研修室
103・104

神奈川県保健師についての説明
参加自治体との座談会

参加各自治体の相談ブース
※会場参加者にはオリジナルコottonバッグのプレゼントがあります

申込期間 12/28 ~ 2/26
神奈川県保健師ナビ からもお申し込みが可能です
神奈川県保健師ナビでは神奈川県の保健師の採用情報や活動紹介等の最新情報を掲載しています

神奈川県健康増進課健康づくりグループ
2024年度新卒 神奈川県立保健福祉大学・神奈川保健大学
TEL: 045-210-4784
申込URL: https://shinsei-kanaoka.jp/140007-0/offer/offerList_detail?tempSeq=75810

令和6年度 神奈川県 市町村
保健師の仕事説明会

2024
8/26 (月)
14:00 ~ 16:30
zoomによるオンライン
参加方法の詳細は案内書と案内メールにてご案内いたします

県内の自治体で働く
先輩保健師から保健師の
仕事の実際や魅力について話を聞き
ご自身の進路を考えてみませんか

お問い合わせ
お申し込み先

申込期間 7/5 ~ 8/18
二次元バーコードまたは
下記URLよりお申し込みください

神奈川県内保健師での就業を希望する方
保健師の仕事に興味のある看護学生

自治体保健師の
仕事について
県内自治体のPRと事業紹介
座談会
もっと知りたい! 保健師のこと!

お問い合わせ
お申し込み先

神奈川県健康増進課健康づくりグループ
TEL: 045-210-4784

2024年度新卒
神奈川県立保健福祉大学・神奈川保健大学

神奈川県保健師ナビ からもお申し込みが可能です
神奈川県保健師ナビでは神奈川県の保健師の採用情報や
活動紹介等の最新情報を掲載しています

※保健師修学資金貸付始業制度の創設（R5年度創設）

説明会段階で入職希望者へ積極的にアピールし、**保健師の定着に活用**してください！！

対 象 50人／年
将来、県内自治体において保健師の業務に従事する者
（養成校は県内外を問わない、県内人材確保定着策）

貸付金 月額 4 万円(年額48万円)

貸付期間 2 年間

返済免除 県内自治体において従事した期間が、**5 年**に達したときは、修学資金の**返還債務を免除**

周 知

- ・全国養成校へ案内送付・電話・卒業校へ若手がアピール
- ・大学職員への説明会・学生向け説明会（オンライン）

保健師修学資金
貸付事業のご案内

全国の保健師を目指す
学生のみなさんに貸付しています！

保健師養成課程に在籍している
方で、将来神奈川県内の自治体
において保健師として働く意思
がある方を対象とした修学資金
貸付事業です。

保健師養成課程に在籍中

貸付額	月額 4 万円 年額 48 万円
貸付期間	貸付決定から養成課程卒業まで（最大2年間） ※養成課程卒業後、県内自治体で保健師として働くことが条件です。
返済期間	令和5年 9/10～10/31まで
返済方法	貸付決定後、返済計画を作成していただきます。 ※返済は、県内自治体で働くことが条件です。

修学資金に関すること
神奈川県健康医療部保健師医療課人材育成グループ
電話：045-210-1111（代）内線 4764
月～金（祝日を除く）8:30～12:00 / 13:00～17:15

保健師に関すること
神奈川県健康医療部保健師医療課健康づくりグループ
電話：045-210-1111（代）内線 4784
月～金（祝日を除く）8:30～12:00 / 13:00～17:15

医療課 HP
修学資金がポイント

神奈川県健康医療部保健師医療課
健康づくりグループ

神奈川県健康医療部保健師医療課
健康づくりグループ

市町村専門職（保健師）派遣のメリット（町村側）

＜派遣先面談などから＞

- ・ 採用募集の周知等の助言を受け、採用の応募や確保につながった。
- ・ 統括保健師を配置するきっかけとなった。
- ・ 若い職員にとっては、県の職員の保健活動の経験や、職務に取り組む姿勢等が参考になる。
また、経験の長い保健師にとっても、違う視点で保健活動を考える機会となり、保健師の役割を広げ
てくれている。
- ・ 保健業務について、他自治体の実施方法や工夫点などの情報が得られる。
- ・ 県とのつながりが深まった。
- ・ 保健師の人材確保・育成について、町村内の保健師部門、人事・総務部門で課題や取組みの共有ができた。

市町村専門職（保健師）派遣のメリット（県側）①

- ・派遣保健師は、県保健師が経験できる機会が減った個別支援や地区活動を経験することができる。
- ・市町村の保健活動を経験することにより、広域自治体の役割を身をもって学ぶことができる。
- ・統括保健師や地域統括保健師が、派遣先市町村の保健師との顔の見える関係性が深まった。
更に、保健師主管課の課長や、総務・人事担当部署とも顔の見える関係となった。
- ・派遣保健師の支援や、派遣先面談等で、派遣先町村の保健師確保、育成等の課題がこれまで以上に把握できた。その課題に対して、健康増進課や保健福祉事務所・センターが具体的に助言することや、取組みを考えることができた。
- ・市町村専門職派遣事業を通して、県の中でも、保健師確保・育成の市町村支援について、健康増進課と市町村課が連携して取組むことができた。

市町村専門職（保健師）派遣のメリット（県側）②

<派遣保健師の声（報告会などから）>

- ・ 予算から事業実施、ケースワーク等一連の流れを経験し、事業の成り立ち、流れが分かった。
- ・ 多くの個別支援をしっかりと経験したことにより、保健師としての個別支援のスキルが上がった。自信が持てた。
- ・ 個別事例を多く経験することで、個の問題から集団の課題として捉え政策に繋ぐことができ、目に見える成果を実感できた。
- ・ 県職員以外にも心強い味方ができた。この人脈は県に戻ってからでも活かされている。
- ・ 県の外に出たことで、県の良いところが分かった。
- ・ 町が県に期待すること、広域行政として県がどのような支援をしたらよいのかが分かった。

神奈川県市町村専門職員派遣の取組を取り巻く状況について

1 専門職員派遣の取組において、次の課題が顕在化している。

○ 取組開始から5年が経過し、初年度派遣は折り返し時期を迎えるが、人材確保や育成につながっていない等の状況が散見される。

○ 一部の派遣先市町村では、採用活動の停滞や勤務環境の改善が見られないといった、派遣の趣旨にそぐわない状況（※）が見受けられる。

※ 定数の関係から当該職種の採用活動を停止する、他の職種を採用することで事務職の採用数を減員する、勤務時間内に行うべきことを勤務時間前に実施する 等

2 専門人材確保・育成部会の取組において、次の課題が顕在化している。

○ 市町村/県共催の合同説明会（R4：13団体/30団体）や大学主催の合同説明会（R5：12団体/30団体）への参加が低迷。

3 官民を問わず専門人材の採用難がより一層顕在化し、近年頻発する自然災害や新興・再興感染症への対応等、県の業務も多様化する中、市町村と同様に県も計画通りの職員採用ができておらず、再任用職員のなり手不足等により県の業務遂行も厳しい状況にある。

4 地域手当の広域化や初任給月額の上上げなど、給与面等が改善方向にあり、市町村間での共同採用など広域連携手法の実践環境が整いつつある。

（参考）県職員の採用状況（令和3年度～令和6年度 県職員採用試験・選考の実施結果及び実施状況）

	令和3年度(R4.4.1採用)		令和4年度(R5.4.1採用)		令和5年度(R6.4.1採用)		令和6年度(R7.4.1採用)	
	採用予定	採用見込	採用予定	採用見込	採用予定	採用見込	採用予定	採用見込
保健師	20	18	20	21	18	16	16	11
総合土木	54	49	56	35	52	27	76	34

※ 実際の採用人数は、辞退等により採用見込人数から減少

※ 令和6年度採用見込は、令和6年12月23日時点の数値

市町村専門職（保健師）派遣の課題（県側）

- 派遣保健師選出の課題

- ◆派遣の中核となる県の中堅保健師の数が少ないことや、育児時間短縮制度を活用している人が多いことから、派遣候補となる保健師が少ない。

- ◆保健師派遣の希望のある市町は神奈川県西部に集中しており、通勤時間の面などから派遣できる保健師が少ない。

- ジョブローテーション2か所目で派遣となる保健師もあり、後方支援を担う健康増進課、保健福祉事務所・センター地域統括保健師に係る役割が大きくなっている。

派遣時の職位

技師	主任技師	主査	副技幹	計
8人	2人	5人	0人	15人

派遣時の県経験年数

3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10～15年目	16年目以上	計
3人	4人	1人	1人	3人	0人	0人	2人	1人	15人

市町村専門職（保健師）派遣者の支援

	時期／回数	内容	主管部署	県関係部署
派遣者面談	2回／年	・勤務状況の把握 ・派遣先の課題等の把握	市町村課	
市町村専門職（保健師）派遣者報告会（オンライン）	前期（10月ごろ） 後期（3月ごろ）	・派遣保健師の活動報告	市町村課	健康増進課 保健福祉事務所・センター
市町村派遣保健師交流会	1回／年	・派遣保健師の活動報告 ・情報交換	健康増進課	保健福祉事務所・センター 地域統括保健師
保健福祉事務所保健師研修（オンライン）	3月ごろ	・市町村派遣、児童相談所、精神保健福祉センター等の活動報告	健康増進課	保健福祉事務所・センター 保健師
保健師キャリアラダー面談	1～2回／年	・能力育成の助言	保健福祉事務所・センター 地域統括保健師	
所内保健師業務連絡会	毎月～隔月	・情報交換	保健福祉事務所・センター	

神奈川県における保健師の人材確保の取組み

戦略的な人材確保計画の策定

- 保健師人材の養成・確保・育成に関する検討報告書（令和4年度）★
目指す姿、「多様化、高度化する住民のニーズや健康課題に的確に対応できるよう、本県の行政保健師数を全国平均並みに引き上げ、必要数が確保される。そして、住民の健康の保持増進や回復を図るための様々な活動を展開し、推進できる保健師の育成を目指す。
- 第8次神奈川県保健医療計画への記載 ★
第3節看護職員
3 指標 県内保健所及び市町村常勤保健師数
計画策定時 1, 2 1 1 人（R 3）
目標値 1, 7 5 1 人（R11）
- 令和3年度～8年度神奈川県保健師採用計画（毎年協議）
- 市町村専門職（保健師）派遣 ★
- 県・市町村統括保健師連絡会 ★
- 保健師確保・育成に係る現状把握（統計資料作成等）★
- 令和6年度厚生労働科学研究「自治体保健師の計画的・継続的な確保に関する研究」協力 ★※

<参考>



市町村と連携した取組みは朱書き★

「自治体保健師の計画的・継続的な確保に関する研究」神奈川県報告会・講演会

神奈川県における保健師の人材確保の取組み

応募数の確保

- ・採用募集の周知（大学訪問）
- ・実習の受け入れ ★
- ・インターンシップ
- ・学校・養成校との連携
- ・リカレント教育（令和10年度から）※
- ・保健師採用情報案内の作成（県・市町村）★
- ・神奈川県保健師ナビ（県・市町村）★
- ・県・市町村合同就職説明会・仕事説明会（県・市町村）★
- ・保健師修学資金貸付事業★

多様な人材の確保や働き方への対応

- ・経験者採用の実施
- ・産前産後休暇・育児休業代替職員の確保 定数外配置
- ・働き続けられる職場環境（テレワークの推進等・休暇取得の促進）
- ・定年延長・再任用者の活躍促進

※ 県立保健福祉大学実践教育センターにおけるリカレント教育（予定）

1. 背景

- ・ 県内の自治体の保健師数(人口10万人対)は、全国最下位
- ・ 平成23年度までは保健師教育は大学の看護師養成課程で学んだすべての学生が履修
⇒一定数存在する潜在保健師を活用できないか

2. 目的

- ・ 実践教育センターにおけるリカレント教育の強化
（潜在保健師の活用⇒就業保健師の確保）
- ⇒県と大学で連携しながら潜在保健師発掘等の課題に取り組みつつ、県内自治体等への保健師就業の橋渡し

3. 内容（予定）

- 対象：保健師免許保有者（実務経験なし）20名程度
- 実施時期：令和10年度～（予定）
- 内容：潜在保健師に対し、地元での実習体験を含むリカレント教育を実施

神奈川県における保健師の人材確保の取組み

定着・育成の推進

- ・人材育成ガイドラインの作成・改正
- ・新任期育成ガイドラインの作成・改正
- ・キャリアラダーに応じた研修の実施 ★
- ・保健師OBによるトレーナー事業 ★
- ・大学院や長期研修、団体派遣の検討
- ・保健師人材育成マネージャー（役職定年延長者）による人材育成 ★
- ・保健福祉事務所による「管内市町保健師人材育成ガイドライン」の作成支援 ★ ※

自治体保健師の魅力発信

- ・保健師採用情報案内の作成（県・市町村）★
- ・神奈川県保健師ナビ ★
- ・県・市町村合同就職説明会・仕事説明会（県・市町村）★
- ・看護協会と県の共催 保健師魅力発見イベント

※保健福祉事務所による「管内市町保健師人材育成ガイドライン」の作成支援

足柄上地域保健師人材育成ガイドライン

<作成の背景>

小田原保健福祉事務所足柄上センターと管内1市5町の保健師が今後の保健師活動の在り方を協議した際、足柄上地域で保健師活動を展開するにあたっては保健師の「人材確保」と「人材育成」が大きな課題であることが明らかになりました。

そこで、令和5年度足柄上センター主催の地域保健師等業務連絡会議において、

- ① 各市町における「統括保健師」配置の推進
- ② 1市5町共通の「人材育成ガイドライン」の作成
- ③ 人材確保・人材育成に関する研修・会議の充実

の3点に取り組み、住民の健康を守る保健師活動の基盤づくりを推進することとなりました。

<足柄上地域保健師の目指す姿>

足柄上地域の保健師は、「共にいる～その人らしい暮らしを支える保健師～」を目指す姿として保健師活動を展開します。

足柄上地域 保健師人材育成ガイドライン





ご清聴ありがとうございました



「神奈川県保健師ナビ」

